

令和3年度 第1回関市立図書館協議会 会議録

日時 令和3年7月14日（水曜日）午後1時30分～

場所 わかくさ・プラザ学習情報館 2階ギャラリー

◆出席者

（図書館協議会委員）

樋口 緑、波多野壽美、平川貴久、河合裕子、太田尚文、鈴木幸子、藤井和敏

可児翔也 以上8名

※欠席者 澤田通直

（事務局）

西部成敏協働推進部長、中村宜信生涯学習課長、深川理代

（図書館）

長尾館長、亀山並枝館長補佐

◆傍聴者 なし

1 開会

2 委嘱状交付

3 協働推進部長あいさつ

昨年からのコロナ禍の中で注目をあびたのが電子図書館で、利用が非常に増えております。今年は学習情報館の空調や電気などの改修工事と一緒に、図書館のリニューアルと中庭に多目的室の建設を行います。10月に入札を行い、12月の議会承認を受け、翌1月頃に着工になる予定です。完成は来年度末になります。工事中は大変ご迷惑をおかけしますがどうぞよろしくお願いいたします。本日は図書館の運営状況についてご説明をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

4 会長あいさつ

この協議会に参加させていただいたのが平成28年度が始まりでした。そこから今年で6年目を迎えます。精一杯務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

少し前の新聞を紹介させていただきます。最近の雑誌には付録つきが多くなっています。公共図書館で配架をする際に、付録の扱いをどうするかという問題がでてきているというもので

した。付録なしで購入契約を結ぶ所や、倉庫に全て保管している所、利用冊数に応じて利用者に抽選で配っているところなど様々な取り扱いがありました。税金で購入しているもので、廃棄するにも忍びないということで、取扱いに苦慮している様子です。図書館がサービスを提供する中で、こんな問題もあるのだと改めて図書館運営の苦勞されている現状を知りました。図書館がよりよいサービスを提供できるように、本協議会が力になるようなそんな会になっていきたいと思っておりますので、どうぞご協力よろしくお願いいたします。

5 議事

- ・樋口会長による議事進行

①図書館運営状況について

- ・図書館長より資料に基づいて説明

6 質疑応答

【委員】 ふれあいセンターの本の紹介をふれまちの広報で紹介できるとよいと思っている。新着本のデータを頂くなど連携できないか。また、ふれあいセンターでも本が借りられることのPRが足りていないので利用者が増えない。その辺についても相談したい。

【館長】 ふれあいセンターの担当が定期的に訪問しているが、現在はそこまでの連携ができていない。秋に本の入れ替えを行っているがPRの方法などをふれまちと相談しながらタイミングや方法など検討していきたい。

【委員】 コロナで読み聞かせをずっと休んでいる。早く状況がよくなって読み聞かせが再開できることを願っている。現在は司書が読み聞かせをしていると聞いているが、参加状況はどうか。

【館長】 現在は3家族もしくは10人程度の人数で、予約制で行っている。コロナの状況を見ながら、ボランティアによる読み聞かせを再開していきたい。

【委員】 タブレットが児童生徒に配布されたが、電子図書館で活用できないか。

【館長】 タブレット利用は始まったばかりなので、利用方法や利用制限など今後の課題となっているところである。電子図書館は図書館カードに紐づけてIDを登録するので、どのようにIDを配布するかなども、学校側と協議しながら今後検討していきたい。

【委員】 分館分室の利用状況はどうか。

【館長】 なかなか増加しているとまではいかない。それぞれの職員が工夫をこらしてPRしてい

るが、なかなか足を止めるまではいかない状況である。地域の特色をだしながら利用増が図れるように連携や協力をしていきたい。

7 閉会（生涯学習課長あいさつ）

図書館運営につきまして建設的なご意見をいただきまして誠にありがとうございます。図書館のリニューアル工事も始まってまいりますので、委員の皆様のお力を借りながら進めてまいりたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。